

令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	3. 民生費	大事業	10. シルバー人材センター補助事業
項	2. 老人福祉費	中事業	
目	1. 老人福祉総務費	担当所属	高齢者福祉課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画		5年間計画額		
経常	単独	計画	0	0	10,000		第1章	ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）	令和3年度	-
							基本施策3	高齢者福祉	令和4年度	-
									令和5年度	-
							施策2	生きがいつくりへの支援を推進します	令和6年度	-
								令和7年度	-	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		10,000

財源内訳									一般財源
本年度当初要求額									0
本年度当初査定額									10,000

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) シルバー人材センターに対する補助金交付など</p>	<p>(事業の目的) 定年退職後等の高齢者に対して、地域に密着した仕事を提供し、もって高齢者の生きがいの充実や高齢者の社会参加の促進を図ることを目的とします。</p>	<p>(事業の効果) 佐倉市シルバー人材センターの経営基盤の強化を図ることで、就業機会の確保と会員数の増加に結び付けます。また、高齢者の社会参加の機会の創出、生きがいつくり、健康づくりに寄与します。</p>
<p>(事業実施上の課題点) シルバー人材センターへの補助金は、地方公共団体が応分の補助を行うことを前提に、シルバー連合本部及びシルバー連合の活動拠点ごとに、国庫補助の2分の1の額かつ国の予算の範囲内において交付することが基本であり、市の補助金額が国の基準以下の場合、市の補助金額が上限となってしまう。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 少子高齢化の進展及び生産年齢人口の減少が予測される中で、シルバー人材センターには高齢者の就労機会の創出、人手不足分野や現役世代のサポートといった重要な役割が期待されますことから、シルバー人材センターとは、コロナ禍ではありますが、緊密な連携を図りながら側面支援に努めました。</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
18	10,000	10,000	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	10,000	0